



ヨコハマ想い vol.82

第3京浜の
流せジャンクジャン
高く2怖い...
3-カイヤ

お笑いタレント
ふかわりょうさん
Fukawa Ryo

1974年、横浜生まれ。1994年、慶應義塾大学在学中にお笑い芸人としてデビュー。「小心者克服講座」のネタでブレイクし、「シユールの貴公子」と称される。お笑いのほか、ROCKETMANの名義でDJをしたり、「5時に夢中!」のMCや「ひるおび!」のコメンテーターを務めるなど、幅広く活躍。2020年11月、エッセイ集『世の中と足並みがそろわない』(新潮社)を出版し、大きな反響を呼んでいる。
公式サイト <http://happynote.jp/>

計画的に20歳で芸能界デビュー

港北区の綱島の出身です。「なぜ東横線の急行が停まるのかわからない」と言われたりもする街で、駅前は区画整理が進まず、ごちゃごちゃした印象。学生の時はもう少し小洒落た街のほうがいいなと思っていましたが、大人になってからは、あの雑多な雰囲気がかっこよくなりました。

子どもの頃は明るく、自分で言うのもなんですけれど人気者(笑)。運動が得意で特に足が速かったですね。思春期に入ると、「一番こそ価値がある」という考え方にだんだん疲れてきて、年を重ねることで味になるような世界に惹かれるようになりました。

特に好きなのが、音楽とお笑い。音楽好きの父の影響で、小学3年からピアノを習っていましたし、小さい時に観たチャップリン

には大きな影響を受けました。そこで高校生の時に、音楽は趣味で、仕事はテレビの世界を目指そうと思いました。

「20歳になったら芸人になろう。その前にまずは大学に入ろう」と計画。当時は4年制の大学を卒業した芸人はほとんどいなかったんです。お笑いをやるには賢くないといけなし、自分の強みにもなる。慶應大学に進学し、大学2年でデビューしました。

デビューから26年後の自己紹介

『世の中と足並みがそろわない』というエッセイは、自分の内面をさらけ出したいと思って書きました。芸能界に入って26年になりますが、プライベートや自分の内面について触れる機会がほとんどなかったんです。普段思っていることを包み隠さず表現して、僕という人間を知ってもらえたら。デ

昨年11月に書き下ろしエッセイ『世の中と足並みがそろわない』を出版したふかわりょうさん。独自の視点と巧みな言葉選びが評判を呼び、“隔たりリスト”を増殖し続けている。逆説的で示唆に富む、ふかわワールドをのぞいてみませんか?

ビューから26年経って初めて、皆さんに自己紹介できたような気持ちです。

もともと、今の出来事を即座に伝えることには興味がないタイプ。自分の中で熟成させて、発酵させて、芳醇な香りをさせてから外に出したいんです。今回書いてみて、体内によどみのようなものが沈んでいたことに気づきましたし、すくいだしてみても、「こんなものがあつたんだ」と自分でも驚きました。

世間との隔たりにただただ眺める

本が世に出て3カ月余り。予想以上に反響をいただいたのがうれしいです。タイトルに共感して手に取っていただいた方が多かったようですね。最初のタイトル候補『溺れる羊』だったらここまで読まれていなかったかもしれません。

ただ、僕が責任を感じてしまうのは、世の中の流れに乗れないという“病名”を知らないままのほうが幸せなのでは?ということ。この本を読んだことで、人生に対してうっすら感じていた鈍痛の正体を自覚してしまつたら、それが読者にとって果たしてよかったのだろうか、考えてしまいます。

僕は、そんな自分自身を悲観しているわけでも、達観しているわけでもありません。ただただ、自分と世の中との隔たりに眺めようとしているだけ。もちろん、読んで共感してくださる方を、「それでいいんだよ」と肯定するつもりもありません(笑)。

本当は僕も、みんなと同じものを、同じようにキャーキャー言ったりしてみたいんです。奇をてらっているわけでもなく、心の底から思っていることが少数意見になってしまふ。諦めに近い気持ちです。

30歳で迎えた転機

デビューして10年間は、ありがたいこと

に、皆さんにいじられ芸人として認めていただき、求められていることに応えようとガムシヤラにやってきました。でも、自分自身とテレビの中の自分がだんだん離れていってしまつて…。そんな時、出川哲朗さんに「ポスト出川はお前だからな」と言われてハツとしました。生半可な気持ちでは出川さんの後は継げない。かといって、このまま突っ走っては自分自身が壊れてしまう。少しずつ方向転換していきました。周囲に受け入れられるか、不安はありましたけれど、あのまま進むほうが当時の自分にとっては怖かつたんです。

人生に複数の軸足を置きたい

DJや作曲、MCなど、お笑い以外のこともやっていますが、どれが本業か、区別はしていません。複数の軸足を持っている方が落ち着くんです。企業は多角経営が当たり前になっていますよね。個人ももっといろいろなことをやっていいと思うんです。人間の体内にはさまざまな菌があって、一種類の菌だけでは生きられない。それと同じで、関係ないことを排除してしまうと、経験値に深みは生まれてこないのではないのでしょうか。本業とか副業とか、そういう概念自体を取り払って自由に、柔軟に活動していきたいです。もちろん、職人のように何十年もかけて一つのことを磨き続ける生き方も素晴らしいですが、一つに縛られず、いろいろなことをやる生き方も同じくらい価値があると思います。

将来の夢ですか?いつかアイスランドで羊飼いをし、海辺の家で暮らせたらいいですね(笑)。アイスランドが好きなんです。完全に移住しなくても、夏だけ向こうに行くのもいい。そういう人生のビジョンもありません。そうじゃないかと本気で思っています。

あま〜くてとろける、ぜいたくな美味しさ 予定数量100組

やみつぎ干し芋 1袋 500円 (80g) (通常送料600円(税抜))

6袋以上ご購入で 送料無料

とろける美味しさ、甘さはまるでスイーツ

焼くと皮まであふれ出す蜜、トロトロ、ネト〜とした食感に、手がベトベトするような、蜜を口に含んだような強烈な甘みで知られる紅はるかを贅沢に使った特選「やみつぎ干し芋」。「こんなに美味しい干し芋は食べたことない!」「ひと口食べたら感動も!」と大評判です。今回も発祥の地「静岡県遠州産」の干し芋を100組限定にてご用意いたしました。毎回、予約販売だけで完売してしまう人気商品のため、ご注文はお早めに。

■商品は、受注後1週間前後でお届けします。人気商品のため、1世帯20袋まで。

静岡直送!! 口いっぱい広がる濃厚な味と、芳醇な香り!!

女性農家の 生産者: 絹村姉妹

深蒸し茶

お茶の本場“静岡”よりお届け!!

静岡でも珍しい姉妹の農家が作り上げる繊細な味わいで大人気の深蒸し茶「ゆめいぶき」。お湯を注いだ瞬間にふわっと広がる芳醇な香り、濃厚で美しい緑色、口いっぱいに広がる至福の美味しさは、リピーターも多く、毎回完売するほど。特別なお茶を数量限定にて、本場【静岡】よりお届けします。

厳選茶葉使用

ゆめいぶき 予定数量 1袋 500円 (100g) (通常送料600円(税抜))

6袋以上ご購入で 送料無料

■商品は、受注後1週間前後でお届けします。人気商品のため、1世帯15袋まで。